

令和 2 年 1 月 3 1 日

2020 年 1 月に広島大学病院遺伝子診療科を
設置しました
～がんゲノム医療拠点病院としての体制整備～

2019 年 6 月に「がんゲノム医療」が保険適用となり、9 月には全国で 34 施設指定された「がんゲノム医療拠点病院」に本院が選ばれました。新しいがん診療体制の構築ならびに人材育成(2021 年度からの学生受入れを目指して「認定遺伝カウンセラー養成コース」の設置を申請予定)において重要な役割を担います。

「がんゲノム医療」では、手術で切除したり生検で採取したがん組織から遺伝子を抽出し、最新の遺伝子解析装置(次世代シーケンサー)で 100～300 種類の遺伝子の変化を解析する「がん遺伝子パネル検査」によって、どの遺伝子に変化があるかを調べます。この検査結果は非常に複雑なので、エキスパートパネルという専門家の検討会で話し合い、どの遺伝子を治療標的にするのがよいのか、どの施設でその治療を受けることができるかなどを調べ、それらの情報をレポートにまとめて主治医に報告します。主治医はそのレポートをもとに、患者さんにあった治療の情報を提供します。

2020 年 1 月に設置した遺伝子診療科では、診療科長を始め、認定遺伝カウンセラー 2 人、コーディネーター 1 人、情報管理部門と事務の 4 人が専任で対応します。

また、小児科、産婦人科、神経内科、小児外科、乳腺外科、耳鼻咽喉科などの遺伝子診療の専門知識を持つ臨床遺伝専門医が併任で診療を行っています。

これまでの遺伝子診療部では、出生前診断、先天異常、神経疾患などに対応してきましたが、次世代シーケンサーの時代となり、未診断疾患イニシアチブやがんゲノム医療、遺伝性腫瘍などの新しいゲノム医療の領域も対象として拡大していることにかんがみ、幅広く診療に取り組んで参ります。

【お問い合わせ先】

病院遺伝子診療科
診療科長 檜井 孝夫(ひのい たかお)
TEL: 082-257-5965 FAX: 082-257-1762